



生涯現役 選手募集中！ 目指すは『おじいちゃんの甲子園』

★糸島スーパーシニアベースボール倶楽部

今年 1 月に誕生した高齢者ばかりの野球チーム「糸島スーパーシニアベースボール倶楽部」。発起人の田浦重幸さんが、鳥栖市の高齢者野球チームが、地元の少年野球チームと交流試合をするのを観て「孫ほどの年齢差があっても“野球”を通じて楽しめる」と野球仲間に声をかけ結成。

7 月には小学 5.6 年生のチームと対戦し 2-1 で辛勝。

『あぶないところで、面子丸つぶれやった』と冷や汗をかいたとのこと。最終目標は、甲子園球場で行われる全国「おじいちゃんの甲子園」への出場と夢が膨らむ。

「野球を始めた孫と一緒に野球がしたい」と、まったくクラブ野球の経験のない人も入部し“野球少年”にもどって汗を流されています。“58 歳以上なら、経験の有無に関係なくどうぞ”とのこと。問い合わせは 田浦さん（板持）：090-8298-8299

文句を言うぐらいなら、投票に行きましょう！

10 月 22 日は衆議院議員の投票日です。「誰に入れても何も変わらない」『投票したい政党がない』と言われる方もおられますが、“政治は生活そのものです”。

「政治に興味がない」ということは「**自分の暮らしや将来に興味がない**」と言っているのと同じです。税や社会保障費、教育費の無料化、国の安全など、すべて議会で決定し、私たちの暮らしにつながることはばかりです。

政治に無関心ではいけません。「**自分の考えを、しっかり見つめ直すチャンス**」です。来年 1 月には、糸島市長・市議会議員選挙もあります。ぜひ投票に行ってくださいよう、お願いします。

忖度

【そん-たく】：他人の気持ちをおしはかること。

たぶん今年の流行語大賞に選ばれると思いますが、糸島市議会でも注意深く審議していると『なぜこの事業の優先順位が高いの？』『どうしてここに施設をつくるの？』『こんなことに予算をつけても無駄だろう』という議案が時々あります。当然“なぜ”と追及すると、それらしい理由の説明を受けるのですが、納得がいきません。埼玉県の和光市では「財政健全化条例」を制定し、市民の方との情報共有や説明責任を図っていますが、糸島市でも必要だと強く感じます。

伊都国 21

糸島市波多江駅北 3-21-18
電話 092-332-9118
http:mishima-hideyuki.jp
三嶋ひでゆき



糸島市議会議員

伊藤千代子議員(無所属)へ3度目の懲罰 2度目の「議員辞職勧告決議」

9 月 12 日の一般質問において『市民の方の実名を挙げ、十分な調査もせずに事実とは異なる株式の保有状況を基に、あたかも市内企業と関係があるかのような印象操作をおこなった』ことについて動議が出され、議会では懲罰特別委員会で審査を行い、賛成 15、反対 2 の賛成多数で、出席停止 3 日間の懲罰が決定しました。

事件の経過について

9/12：神在保育所の民間への無償譲渡の一般質問の中で、市内有力企業の名前を挙げ、『その企業の株を持つ大幹部が、理事になっているのは大きな問題である』と追及。

9/12：議会終了後に伊藤議員は「ストレスで具合が悪くなった」と、病気を理由に 13 日から 25 日まで議会を欠席。* 病名は不明。

9/13：実名を挙げられたご本人が議会事務局に来られ、『私は 10 年以上前にその企業を退職しており、株式も持っておりません』と、その事実を示す書面を提出される。

9/13：議会では懲罰委員会を設置し、伊藤議員に対して事実確認を行うため弁明の機会を設け、出席が難しいのなら書面での弁明をすること提案しましたが弁明されず。

9/19：伊藤議員より書面にて、一般質問での発言の一部の取り消しの申し出があり、議事録より削除。

9/26：懲罰委員会の中で伊藤議員が弁明。自分の誤りを認めているのであるから、まず事実と異なる内容で名前を挙げられた罪もない市民の方へ謝罪をするのが当然の責務と思えますが一切せずに。逆に

「議員の品格やマナー、倫理が大切と思いませんか！」

「懲罰は私へのイジメ」「議会のパワハラ」と自分の非を認めず、

他の議員が悪いとの弁明に終始。

今まで幾度となく、根拠のない発言や事実と異なる発言を繰り返し、今回で3度目の懲罰を科せられています。私は議員生活11年になりますが、その間に懲罰を科せられたのは伊藤議員だけです。

出席停止の懲罰を受けた翌日の9/27には、自分のブログに、書面にて非を認めているにも関わらず、再度、個人名をあげ過去の資料を掲載し、“自分は悪くない”と主張。これには出席停止の懲罰に反対した議員もあきれ、出席議員全員で「議員辞職勧告」が決議されました。

*「議員辞職勧告」を受けても拘束力がなく、辞職するかどうかは本人の判断です。

迷惑をかけた市民の方へ、まず謝罪するのが人の道ではないのか！

議会での質問は傍聴することも出来ますし、インターネットに配信されています。『名前を挙げられたのが私だったら』と考えると強い憤りを感じます。

伊藤議員の言動は、自治法や会議規則に違反していること以上に『まったく反省する様子もなく、ご迷惑をかけた市民の方への謝罪を一切行わないのは、**人権意識が無いに等しい**』

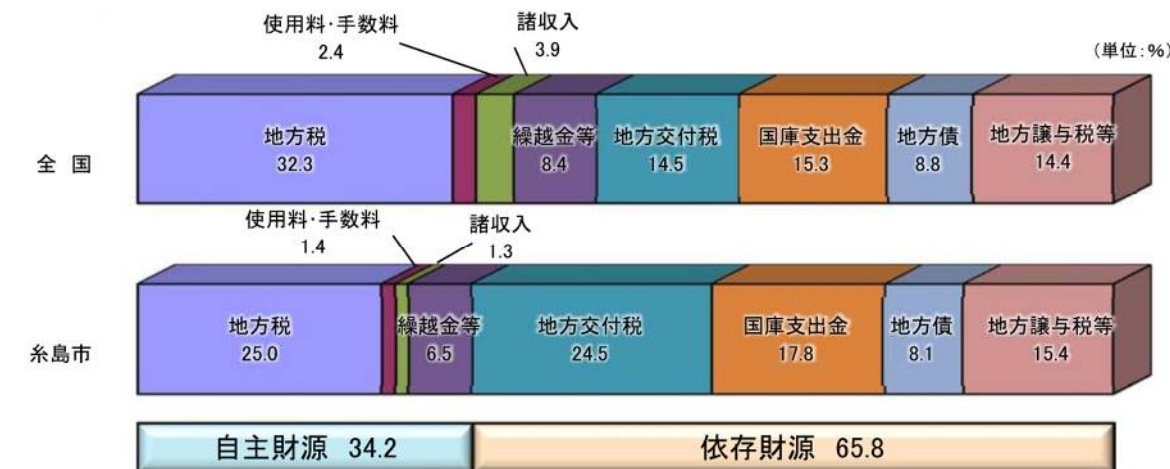


“ストレスで病気になった”と公務を10日間以上放棄。では『無実の方へかけたストレスは、どうなさるつもりなのか』

議員以前に“**人としてのモラルはあるのか**”。伊藤議員は、同じ地域の先輩議員でもあり、尊敬の念を感じるころもありましたので、今回の常軌を逸した言動はとても残念です。

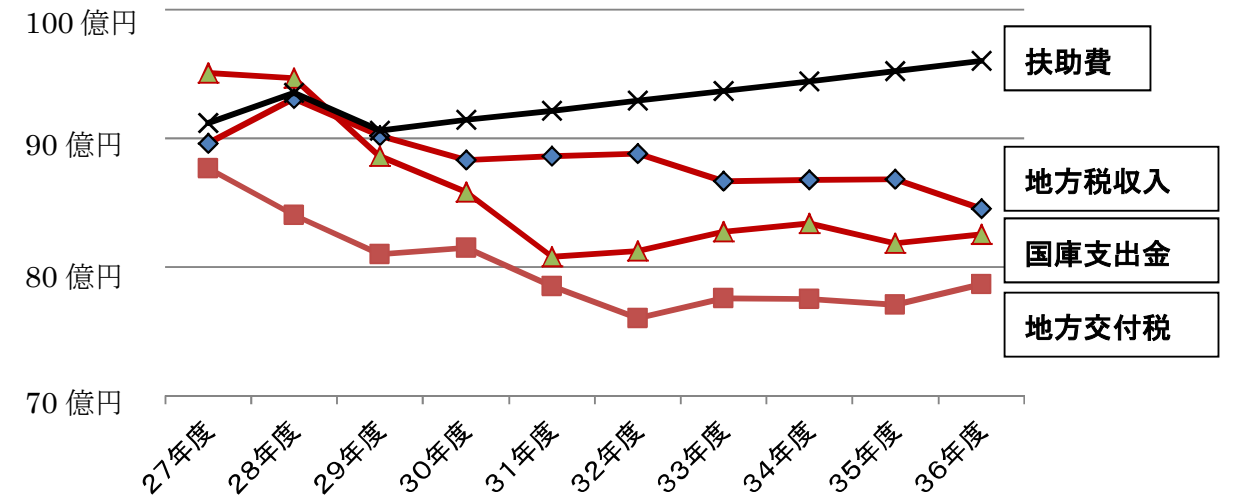
不安を感じる糸島市の将来財政

平成22年の糸島市誕生から早7年。人口も増加傾向にあり、借金（地方債）も順調に減少しており、基金は24年度：62.5億円から28年度：90.9億円と順調に推移しています。しかし、財政指標を見て10年、20年後の財政を考えると“**本当にこのまゝいって大丈夫なの？**”と不安を覚えます。



糸島市の自主財源（地方税、手数料、寄付金など）は乏しく、約2/3は国からの仕送り（地方交付税や国庫支出金）と借金（地方債）に頼っています。

財政の不安要素



1. 国からの仕送り縮小

本来、減らされるべき地方交付税が合併算定替適用を受け、10年間で約98億円上乗せして交付されますが、5年目から段階的に縮小され31年度で終了します。国の借金は1,053兆円（28年6月時点）を超え、“**ない袖は振れない**”と国庫支出金などを縮小しはじめています。

2. 税収の伸び悩み

人口がわずかですが伸びていますが、主な納税者である生産年齢人口が減少する見込みであり、市民税や法人税収も伸びない予測です。

3. 増え続ける扶助費

高齢者・障害者・生活困窮者などに対する支援である扶助費は毎年伸びています。

多額の借金を担うことになる“総合運動公園の建築”“庁舎建替え”

有利な合併特例債（といっても借金）が使える今のうちにと、市民要望が強かった“総合運動公園”の建築を平成33年度に。築47年が経過した本庁舎の建替を平成34年度に計画しています。

全国的に人口が減少するなか、3年連続で人口が増加したのは全国の1,741市区町村（東京の23区を含む）の中で、203市区町村（全体の11.7%）のみ。

“**定住促進**”と言っても、残念ながら**減り続ける人口の奪い合いにすぎません。**

2050年には1億人を割り込み、その4割は65歳以上の高齢者となります。悲観的に想像すると、年金、生活保護、健康保険などの社会制度は破綻し、若者は職を求め都会へ集中し、多くの地方自治体が立ち行かなくなると推測します。